



— まずは、原因となる動作をやめること —

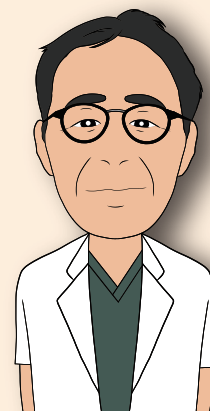
治療としては、ステロイド局所注射原因となっている射・テニス肘用バ動作があれば、まन्दの装着、リハ、それをやめるビリテーションとすることが必要です。して筋力トレーニングだけで症状がング・マツサージ改善されることもストレッチング、温熱療法などがあり、鎮痛剤の投薬・一般的な治療です。

Doctor Interview

テニス肘 (上腕骨外側上顆炎)

医療法人良秀会藤井病院 整形外科

院長 脇田 重明



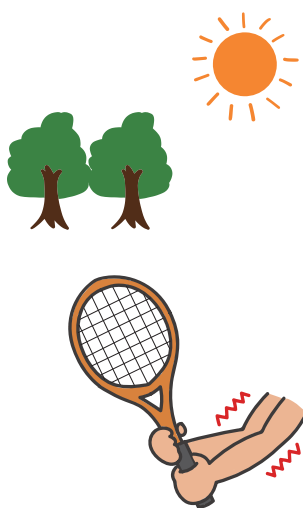
— 主な原因は、ラケットスポーツ —
症状は、肘の痛みなど —

上 腕骨外側上の繰り返しで、疼痛は、別名「テ痛」が起こります。テニス肘ともいわまた、利き手側のれており、テニス発症が多く見られやバドミントンなます。

どのラケットス 「短焼側手根伸ボーツによる上肢筋」という手関節障害では発症頻度を背屈する伸筋のが最も高いものでひとつが上腕骨付す。

好発年齢は30歳代すことが原因ですから50歳代であ 肘の外側を押さえり、男女差はありると痛む・抵抗をません。

肘の外側の痛みがさせると痛む・中特徴で、ラケット指だけ伸展させるスポーツだけではと痛む・握力の低なく、持ち上げ動下などが症状と作や強く握る作業して起こります。



— 他には、手術療法を行う場合も —

最 近では、プロスポーツ選手に外であり、これらにおいても時々報道の治療法を受けらされているのでこれる医療機関は限存じの方もいらつられています。

しゃるかもしれない。受診前に、ホームせんが、多血小板 ページ等で調べて血漿局所注射(自みてください)分の血液から作成)や、保存的治療に抵抗する症例では手術療法も行われています。



〒596-0044

大阪府岸和田市西之内町 3-1

藤井病院

検索



<https://www.ryoshukai.or.jp/medical/fujii/>



医療法人 良秀会

藤井病院

